

研究ノート

中国語の修飾語の語順について

—「樹形図」の教学への応用—

A View on Word Order of Chinese Modifiers

— An Application of "Tree-Diagram" for Chinese Teaching —

山口 直人

Naoto YAMAGUCHI

Key words : 修飾語, 語順, 樹形図

0. はじめに

本稿は大学初習外国語としての中国語において、必ず習得しておくべき事項としての「修飾語の語順」に対して考察を行った。この考察によって得られた知見は、高等学校における中国語教育でも効果的に応用可能と思われる。高等学校の中国語は「～英語に関する各科目の目標及び内容等に準じて行うものとする」(『高等学校学習指導要領』文部科学省114頁, 第8節外国語 第2款各科目 第8その他の外国語に関する科目)とあるので、以下、英語の状況に準じて考えることになる。『高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編』文部科学省(51頁)によれば、「～生徒が書いた英語(ここを中国語に読み替える:筆者注)に誤りや曖昧さがあった場合は、それを正確で適切なものとするよう、文法や語彙を運用する能力を高めながら、きめ細かな指導を行うことが考えられる」と指摘してある。

しかし、修飾語の語順については、初習中国語のテキストで特に取り上げて説明されることはない。それはテキストで取り上げられる例文は短いものが多く、複数の修飾語が同時に用いられた例文はあまり多くないために、ことさら修飾語の語順について説明にページを割くよりも、具体的な例文から直接学生に習得させようという意識が働いているものと思われる。

以下に見るとおり、中国語の初学者、特に日本人の中国語初学者にとって、中国語の修飾語の語順は習得が困難な文法項目の一つである。以下、本稿では修飾語のう

ち、連体修飾語(中国語の伝統文法で言うところの“定语”)に限定して考察する。

例えば(1), (2), (3)のような例文を学んだ後、そこで用いられている3つの連体修飾語“大(大きな)”と“寛闊的(広い)”と“许多(たくさんの)”をつなげて作文する際に、これらの語順については以下に見るとおり、中国語では厳密な語順が決まっているが、語順が比較的自由な日本語では連体修飾語の語順はあまり厳密ではない。

- (1) 大马路。〈大通り〉(何2011. 243)
(何2011, 第2章の例文43の意。以下同様)
- (2) 寛闊的马路。〈広い通り〉(何2011. 244)
- (3) 许多马路。〈たくさんの通り〉(何2011. 245)
- (4) 许多寛闊的大马路。〈たくさんの広い大通り〉
(何2011. 265)
- (5) *许多大寛闊的马路。〈たくさんの大きな広い通り〉(何2011. 266)
- (6) *寛闊的大许多马路。〈広い大きなたくさんの通り〉(何2011. 267)

日本語では(4), (5), (6)すべて容認可能であるが、中国語では(4)だけが容認可能であり、(5)と(6)は容認できない。

従来、中国語の連体修飾語の語順については、代表的なものとして以下のような説明がなされている。

1. 刘月华1983(296頁。日訳は筆者)

「累加関係の複雑な連体修飾語をすべて並べるとすれば、以下の順序になる:

①所属性の名詞, 代名詞

②場所詞と時間詞（両方現れる場合はどちらが先でもよい（場所詞が①と同時に現れる時には①の前）

③数量句（後ろは描写性の連体修飾語）

④主述句

⑤動詞（句）、前置詞句

⑥数量句（前は制限性の連体修飾語）

⑦形容詞（句）およびその他の描写性の言葉

⑧“的”を使わない形容詞や描写性的名詞

ただ、①～⑧すべてを並べた例は挙がっておらず、用例は必ずしも上の順番ではない。以下、③、④、⑦が並べられた例だけを挙げる。

(7) 这时，一个 年纪稍大的 大个子 解放军走了过来。

③ ④ ⑦

〈この時、一人の初老の大柄な解放軍兵士がやってきた〉

2. 奥水優1985（402～403頁。同書は内容を朱徳熙1982等にも負っているが、説明はこちらのほうが詳しい）

①“的”をもつ定語は“的”をもたない定語の前におく。

ただし、数量詞は“的”をとまなわれないが、“的”を持つ定語の前においてもよい。また、領属関係をしめす定語は“的”がなくても前におく。

(8) 新的 大 房子〈新しい大型家屋〉。

*大 新的 房子。

(9) 新的 一所 房子〈新しい一軒の家〉。

一所 新的 房子〈一軒の新しい家〉。

(10) 他 最大的 孩子〈かれのいちばん上の子ども〉。

*最大的 他 孩子。

②いくつかの定語がいずれも“的”をもっていない場合は、一般に領属をしめす定語+数量詞+形容詞性成分+名詞性成分の順となる。

(11) 他 那本 新 语法书〈かれのあの新しい文法書〉。

3. 楊徳峰2009（114頁。日訳は筆者）

「累加関係の多項連体修飾語の順序は実に複雑であるが、一定の規則が存在する。その規則はおおよそ以下の通りである：

「①所属関係あるいは代名詞+②時間あるいは場所+

③指示代名詞+④数量+⑤主述句や動詞や前置詞句+⑥形容詞+⑦“的”を伴わない形容詞や名詞+中心語（=被修飾語）」

(12) 这次旅游花了 我家 半年的 收入。

① ④

〈今回の旅行では我が家の半年の収入を使った〉

(13) 1月6号是 去年 最冷的 一天。

② ⑥

〈1月6日は去年一番寒い日だった〉

(14) 找 一个 我们都有空的 周末一起去郊游。

④ ⑤

〈一つの我々が全員暇な週末を見つけて一緒にピクニックに行こう〉

(15) 那 一双 大一点儿的 牛皮 皮鞋多少钱？

③ ④ ⑥ ⑦

〈あの一足の少し大きめの牛皮の革靴はいくらですか？〉（例文(10)や(11)で“一个”“一双”といった数量詞を直接日本語に翻訳すると不自然であるが、日本語と中国語の連体修飾語の語順を確認したいので、あえて直接翻訳している）

こうした文献による指摘は中国語連体修飾語の語順を正確に記述するものではあるが、「なぜこの順番なのか？この順番でなければなぜ非文になるのか？」ということには答えていない。なお、陳2009（14頁）に方希1999による「限定的修飾+描写的修飾+帰属的修飾」という語順も挙げてあるが、本稿では取り上げない。

本稿では以下、何2011の生成文法の樹形図にもとづく分析を紹介し、中国語の連体修飾語の語順が「なぜこの順番なのか？この順番でなければなぜ非文になるのか？」ということに対して、眼に見える形でその理由を明らかにしたい。

1. 中国語の連体修飾語の種類

中国語の連体修飾語の種類は多いが（上述の楊徳峰2009では7つ）、本稿では特に「性質形容詞」「的”字句」「数量詞」の3つについて考察する。この3つは実質的には劉月華1983の言う⑧、⑦、⑥と等しい。以下、(1)、(2)、(3)を再掲し、それぞれと同じ性格の例文をいくつか挙げる。

(1) 大 马路。〈大通り〉=性質形容詞

(16) 高 楼。〈高い建物〉

(17) 胖 学生。〈太った学生〉

(18) 老 树。〈老木〉

(2) 宽阔的 马路。〈広い通り〉=“的”字句

(19) 青砖的 楼。〈黒レンガの建物〉

(20) 高个子的 学生。〈背の高い学生〉

(21) 三百年以上的 树。〈三百年以上の木〉

(3) 许多 马路。〈たくさんの通り〉=数量詞

(22) 好多 楼。〈たくさんの建物〉

(23) 很多 学生。〈たくさんの学生〉

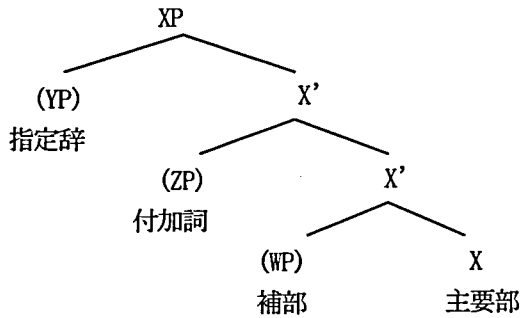
(24) 颇多 树。〈たくさんの木〉

中国語において、連体修飾語の語順は一律に「連体修飾語+中心語」となり、表面的には線形的な区別はない

が、これらの連体修飾語と中心語の階層関係は同じではないことに注意が必要である。こうした階層構造の違いを見える形で明らかにする方法としては、生成文法の「Xバー規約」が有効である。

Xバー規約の考え方は、「主要部」（ここで言う「中心語」）を構造のカナメとして、それがいくつかの「項」や「付加詞」を伴いながら、上に枝を伸ばして行き、最終的にその主要部の句（これを「最大投射」と言う）を形成するというものである。以下、代表的なXバー規約の図を挙げる。

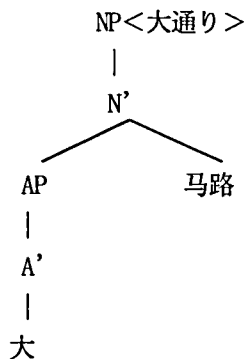
(25)



図(25)が表しているのは、主要部X（ここで考察している例は名詞(N)）をカナメとして、それが「補部」や「付加詞」や「指定辞」を修飾語として伴いながら、「中間投射」のX'（Xバー）を経て、最終的に「最大投射」であるXP（ここで考察している例は名詞句(NP)）として完成を見るその語形成の過程である。

以下、Xバー規約にもとづいて、上述の「性質形容詞」、「的」字句、「数量詞」の3つの修飾構造を見てみる。先ず初めに「性質形容詞」の例を見る：

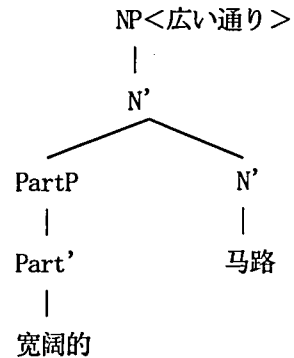
(26) 「性質形容詞」(何2011. 256)



(26)は「性質形容詞」が名詞の修飾語になっている例であるが、ここで重要なのは「性質形容詞」は主要部名詞の「補部」の位置に生成されるということである。ここでA=形容詞、A'=形容詞の中間投射、AP=形容詞句、

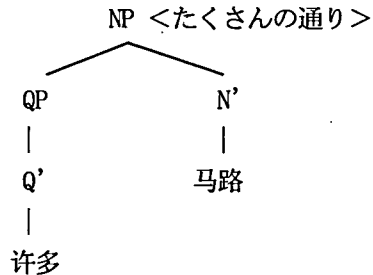
“马路”=名詞、N'=名詞の中間投射、NP=名詞句である。次に、「的」字句」の例を見る。

(27) 「的」字句」(何2011. 257)



(27)は「的」字句」が名詞の修飾語になっている例であるが、ここで重要なのは「的」字句」は主要部名詞の「付加詞」の位置に生成されるということである。ここでPartP=構造助詞句である。最後に、「数量詞」の例を見る。

(28) 「数量詞」(何2011. 258)



(28)は「数量詞」が名詞の修飾語になっている例であるが、ここで重要なのは「数量詞」は主要部名詞の「指定辞」の位置に生成されるということである。ここでQP=数量詞句である。

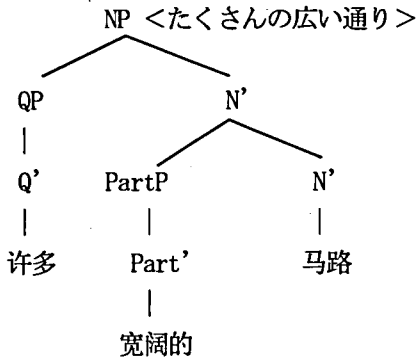
このように、表面的には「修飾語+中心語」という平坦な語順でしかない中国語の修飾語と中心語の語順を、その階層構造の違いを眼に見える形で表示できることがXバー規約の優れた点である。つまり、修飾語と中心語の関係は階層構造の観点から言えば、その樹形図上の位置が決まっており、修飾語が間違った階層位置に現れるとそれは非文となってしまふ。Xバー規約にもとづく樹形図によって、このことを明示的に示すことが可能となる。以下、語順の異なる連体修飾語を持つ文の樹形図を比較してみる。

2. 樹形図にもとづく連体修飾語の語順

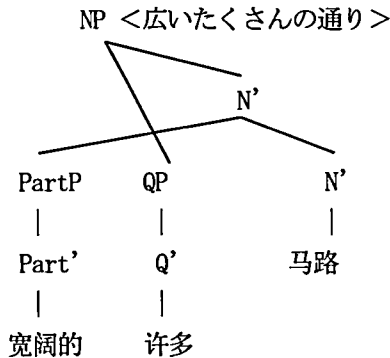
2.1 「数量詞」+「的」字句」+中心語の場合：

中国語ではこの語順でなければならず、異なる語順では非文となる。

(29) (何2011. 2-59)



(30) (何2011. 2-60)

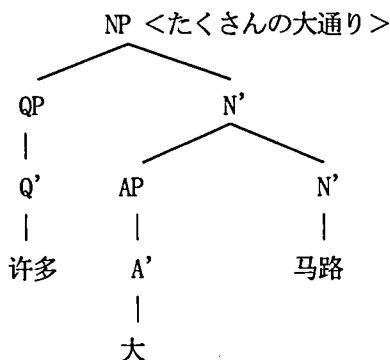


非文である(30)では樹形図の枝が交差していることが見て取れる。樹形図の枝の交差は許されず、このために(30)の修飾語の語順は許されない。

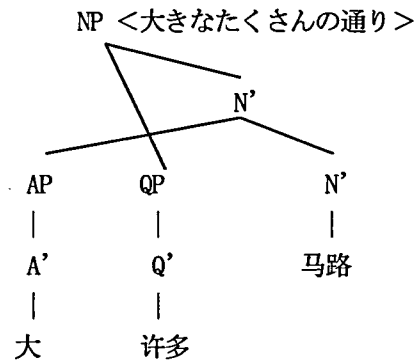
2. 2 「数量詞」 + 「性質形容詞」 + 中心語の場合：

同様に、中国語ではこの語順でなければならず、異なる語順では非文となる。

(31) (何2011. 2-61)



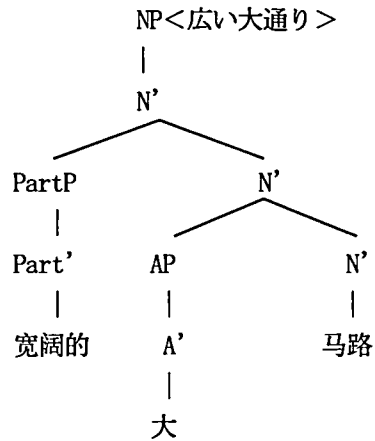
(32) (何2011. 2-62)



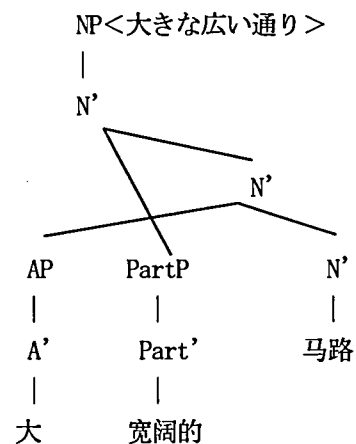
2. 3 「的」字句 + 「性質形容詞」 + 中心語の場合：

これも同様に、中国語ではこの語順でなければならず、異なる語順では非文となる。

(33) (何2011. 2-63)



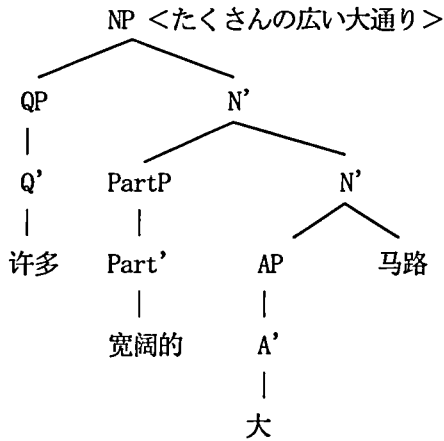
(34) (何2011. 2-64)



2. 4 「数量詞」 + 「的」字句 + 「性質形容詞」 + 中心語の場合：

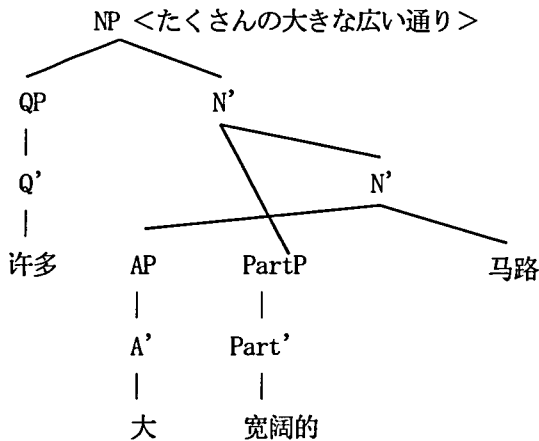
本稿で取り扱う3つの連体修飾語がすべて現れる時の語順はこの語順だけが中国語では許される。それ以外の語順はすべて不適格な語順となる。

㉔ (何2011. 2-65)



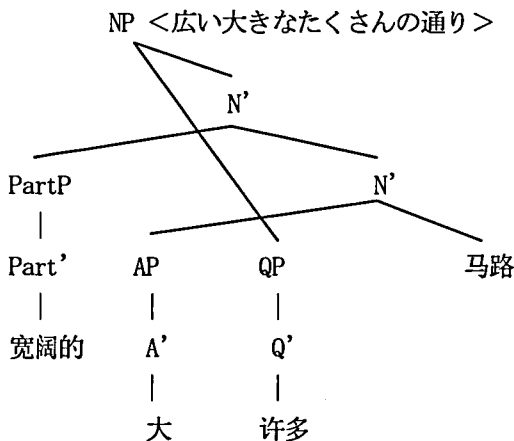
「数量詞」+「性質形容詞」+「的」字句+中心語の語順は許されない。

㉕ (何2011. 2-66)



同様に、「的」字句+「性質形容詞」+「数量詞」+中心語の語順も許されない。

㉖ (何2011. 2-66)



ここで興味深いのは、例文㉕と㉖の許容度の差である。何2011によれば、㉖は㉕よりも許容度が劣った文であるという(43頁)。この原因について何2011は、㉖の修飾語の語順が樹形図において2本の枝の交差を生み出すの

に対して、㉕の修飾語の語順は樹形図の枝の交差が1本に留まることにその原因を求めている。つまり、樹形図の枝の交差が多ければ多いほど、その修飾語の語順は許容度が低くなるわけである。Xバー規約にもとづく樹形図は、この事実を眼に見える形で明確に示すことに成功している。

3. 樹形図の教学への応用

以上、何2011の考え方による中国語の連体修飾語の語順についての説明を見た。Xバー規約にもとづく樹形図はその階層を表す「中間投射」や「最大投射」の概念や主要部に対する「補部」、「付加詞」、「指定辞」という概念が複雑で、大学生の初学者はもちろんのこと、高校生中国語学習者にとっては難しすぎる。ただ、このような概念に触れる必要はなく、単に修飾語はその性格によって、階層構造上に現れる位置に違いがあることを、こうした複雑な概念を除いた単純な樹形図を描いて説明することは差し支えない。そのような単純化した樹形図を用いて、中国語の修飾語の語順を説明することは、大学の初習中国語や高等学校の中国語学習において、一定の教学上の効果を得ることができると思われる。

主要参考文献

- 陳風2009【連体修飾の日中対照研究】、牧歌舎
- 何元建2011《現代漢語生成語法》、北京大學出版社
- 輿水優1985【中國語の文法の話——中國語文法概論——】、光生館
- 劉月華1983《實用現代漢語語法》、外語教學與研究出版社
- 楊德峰2009《對外漢語教學核心語法》、北京大學出版社
- 朱德熙1982《語法講義》、商務印書館
- 【高等學校學習指導要領】文部科學省
- 【高等學校學習指導要領解説 外國語編・英語編】文部科學省